

# 日本機械学会 関西支部便り2013

## 関西支部長から関西支部の活動のご紹介

第89期関西支部長 谷川雅之 (Hitz 日立造船 (株))

学会誌の紙面をお借りして関西支部における活動の概略をご紹介します。

関西支部は、関西地域における機械分野の学術および技術の進歩を図り、かつ工業の発展に尽くすことを目的として、地域に密着した活動を展開してまいりました。今わが国の産業は六重苦に加え東日本大震災と原発事故が重なり大変な試練に直面しています。また国の借金や人口減少など将来にも大きな問題を抱えています。政権交代後、円高が解消されるなど一部で明るい兆しも見られますが、3本目の矢である成長戦略すなわち産業の競争力強化が鍵となります。この情勢の中で産業の中核を担う機械工業とこれを支える機械工学に求められているのは、グローバル競争に打ち勝つ技術革新とそれを可能とする学術の発展と人材育成しかありません。関西という自由闊達な地域性の中で、産学の交流を促進し、企業と教育機関の持てる力を結集して

広く発信していくこと、それを通じて社会の要請に応えることが日本機械学会関西支部の役割と考えています。

当支部は先進的でユニークな学会活動を活発に繰り広げています。大きく分けて次の4つの事業を企画・運営しています。①定時総会講演会・卒業研究発表講演会、秋季技術交流フォーラムなどの学術・技術交流事業、②講習会、見学会、ステップアップ・セミナー、特別フォーラムなどの教育・啓発事業、③大学・高専と企業との交流を図る技術情報誌の発刊と技術情報交流会などのメカボケーション事業、④関西学生会による「メカライフの世界」展およびシニア会による「親子の理科工作教室」等を通じた世代間交流事業です。今期も、これらの事業を積極的に推進し、さらなる活性化に努めてまいります。この活動や方向に関して支部会員各位からご意見をお寄せ頂きたいと存じます。今後とも、関西支部の活動へのご理解とご支援をお願いいたします。

## 関西学生会

関西学生会は関西地区の24の大学・高専の学生員で構成され、各校を代表する運営委員50名余を中心に活動しています。その活動は毎年11月の「メカライフの世界」展と3月の卒業研究発表会という二大イベントの他に、工場見学会やシニア会との交流会などがあり、運営委員会を年に8回程度開いて、学生が主体で活動しています。

昨年も11月17日(土)・18日(日)の2日間、神戸市青少年科学館において小中学生を対象に機械のしくみやものづくりの楽しさを体験してもらう「メカライフの世界」展が開催され、のべで1100名を超える来場者を迎え大盛況でした。来場者アンケートでは、来場者の98%の方に

「期待以上」あるいは「期待どおり」と答えて頂き、子供たちから「また来年も来たい」との意見ももらい、学生達も苦勞が報われて大変嬉しかったようです。活動に携わった学生達は一年後には見違えるほどに成長し、その活動は彼らにとっても貴重な経験になっていると思います。

今年度も、昨年に負けない企画を学生諸君が鋭意準備中です。関西学生会の活動について詳しくは、関西支部HP内の関西学生会のページをご覧ください。



## 技術情報誌 MECHAVOCATION 2013

MECHAVOCATION は「機械技術者の天職」という意味の事業で、1993年度より展開し、関西に拠点を置く産業界と学界の交流の場を種々提供して参りました。

MECHAVOCATION2013はその核となる技術情報誌で、主として①関西支部賞受賞技術紹介、②協賛いただいた企業の紹介、③関西地域の大学・短大・高専の学校紹介から構成されており、日頃企業を知る機会の少ない

学生にとって将来の進路選択の媒体として有用な手段となっています。毎年、関西地区の機械系学生約6,500名、全国160校の就職担当教職員および協賛企業に配布する一方、インターネット版を公開し、支部と学校、企業を結ぶ情報媒体として広く活用いただいています。就職事情の厳しさが問題となっている現在、学生と企業の間を取りもつ社会貢献の役割を果たしています。

## 企業と学校関係者の技術情報交流会

MECHAVOCATION 刊行に付随する事業として、「学生と企業の交流会」を開催しています。2012年は12月15日(土)関西大学千里山キャンパスで開催されました。午前「大学・高専研究発表の部」、午後「企業技術発表の部」が開催され、協賛企業の中から48社86名、参加校31校501名(教員37名、学生464名、42件発表)の計587名が出席しました。午前は、学生側の研究内容を企業参加者に紹介するポスターセッションが行なわれ、両者の直接対話により、学生の研究内容が議論されました。企業の人事担当者も多数参加され、通常の学会とは異なり専門外の方に対しても、学生が研究の意義を分かりやす

く説明する良い機会となりました。午後は、企業のミニプレゼンの後、ブース別に出展企業から学生参加者に各社の独自技術や人材採用方針が説明され、自由に討論されました。夕方からの「懇親会」では、相互の交流で、学生は卒業後の進路を定める一助とすることができました。席上、優秀ポスター賞の表彰も行われ、大盛況でした。

2013年度は12月14日(土)に関西大学で開催が予定されています。



## 第88期定時総会講演会・

### 2012年度関西学生会学生員卒業研究発表講演会

関西支部最大の行事である定時総会・講演会および関西学生会学生員卒業研究発表講演会が2013年3月15～17日に大阪工業大学(大阪市)において開催されました。第88期目となるこの定時総会・講演会では、2日間で583名の参加のもと、研究発表講演289件のほか、基調講演、フォーラム、ワークショップ、および関西支部賞受賞記念講演を含む計320件の講演発表と日本文理大学 特任教授 宇治橋貞幸氏による「スポーツのパフォーマンスに及ぼす用具の影響」、ならびに大阪工業大学 前知的財産学部長・名誉教授 石井 正氏による「オープン・パテント・ポリシーの時代ー現代機械技術の悩ましい特許問題を超越するー」の特別講演がありました。定時総会の席上では定例の議案審議の後、関西支部賞6件、支部長特別表彰2件、学生員増強功労者8校の表彰も行われました。また、関西学生会卒研発表講演会は学生員が卒業研究の成果を発表し、座長も学生員が務め、学術・技術の発展に貢献するとともに、学生員相互の交流を深める良い機会でした。今回は761名の参加者を得る中、422件の講演発表が行われ、活発な卒業研究発表講演会となりました。本講演会では研究発表全体の評価が行われ、支部長から Best Presentation Awards が40名の学生員に贈呈されました。さらに、3月14日には定時総会見学会が西日本旅客鉄道(株)吹田総合車両所にて催され、車両整備場、改修・改造場を見学させて頂きました。

### 組織と活動の概要

支部は、定時総会講演会のほか、産官学の研究者が集う9つの懇話会の企画による秋季技術交流フォーラムや、商議員・代表会員が専門分野ごとに所属する5つの専門部会の協力の下に年6回の講習会を開催しています。また、学生員が主体的に運営している関西学生会や、経験・知識で社会貢献等に取り組むシニア会が活発に活動する一方、3月の定時総会と年3回の商議員会で意見交換しながら、支部運営を毎月開催の幹事会が担っています。

### 第89期 2013年度主要行事（予定）

'13.04	第1回商議員会・専門部会
'13.05	第325回講習会
'13.07	第326回講習会
'13.08	「機械の日・機械週間」記念行事
'13.09	第2回商議員会・専門部会
	特別フォーラム
	第327回講習会
'13.10	第14回秋季技術交流フォーラム [大阪大学]
	第328回講習会
'13.11	第641回見学会
	ステップアップ・セミナー2013
	関西学生会「メカライフの世界」展
'13.12	第329回講習会
	MECHAVOCATION2014「学生と企業の交流会」
'14.01	第330回講習会
'14.02	旧新商議員会・専門部会
	就職に関する企業と学校の交流会
'14.03	2013年度学生会卒研発表講演会 [大阪府立大学]
'14.03	第89期定時総会・講演会 [大阪府立大学]
'14.03	第89期定時総会・見学会